

新むつ小川原株式会社 第3回経営諮問会議

議 事 次 第

日 時:平成15年5月19日(月)14時～15時

場 所:経団連会館 富士の間(8階)

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 奥田座長ご挨拶
4. 議事
 - (1)14年度経営概況について
 - (2)15年度事業見通しについて
 - (3)その他
5. 質疑及び応答
6. 閉会

(出席委員等名簿)

座 長	奥 田 碩 (日本経済団体連合会会長)
座長代理	伊 藤 善 市 (東京女子大学名誉教授)
委 員	末 永 洋 一 (青森大学教授)
	梅 内 敏 浩 (前青森県商工会議所連合会会長)
	大道寺小三郎 (青森経済同友会代表幹事)
	青 山 俊 樹 (国土交通事務次官)
	(欠)木 村 守 男 (青森県知事)
	〈代理出席〉天 童 光 宏 (青森県商工労働部長)
	古 川 健 治 (六ヶ所村村長)
	小 村 武 (日本政策投資銀行総裁)

(日本経済団体連合会)
(新むつ小川原株式会社)

事務総長	和 田 龍 幸
代表取締役社長	永 松 恵 一
取締役東京本部長	熊 谷 建 一
取締役青森本部長	佐々木権四郎
常勤監査役	明 石 守 正

平成 15 年 5 月 19 日

第3回 経営諮問会議 報告

新むつ小川原株式会社
代表取締役社長 永松恵一

この度、第3回経営諮問会議が5月19日(月)午後2時から3時まで経団連会館8階富士の間で開催されました。その中では、平成14年度経営概況並びに15年度事業見通し等について当社から以下のとおり報告しました。

1. 平成14年度の分譲は約2.7haで244百万円の売上、賃貸収入等を加えた総収入は419百万円となる見込みである。厳しい事業環境にもかかわらず、営業利益では約9百万円とわずかであるが増益の決算見通しとなった。
2. 15年度については用地分譲と賃貸収入等で約770百万円程度の売上を目標にしたい。
3. 前年度に引続き用地分譲に伴う株主還元を「減資」という形で実施する。

これに対して、経営諮問会議委員の方々から以下のとおり評価・助言を受けました。

1. 経済状況が厳しい中では、分譲・賃貸などまずまずの会社業績を残されたことに対して、会社ならびに関係者の努力に敬意を表したい。
2. 有償減資の実行は大事なことであり、今後とも分譲を進め、有償減資による株主還元を行なっていくというこの会社の基本スキームを継続して欲しい。
3. 青森県が中心となり、むつ小川原工業地域にクリスタルバレイ構想、環境・エネルギー産業創造特区等への取組みがなされ心強い。
4. 八戸までの新幹線開通を契機に乗客が55%増加した。八戸からむつ小川原までのアクセス改善も重要だ。また、むつ小川原工業地域を若者が集まってくるような魅力あるところにする努力を期待する。
5. むつ小川原開発の方向の変化に合わせた、多様で他面的な分譲が進められるような計画とすると同時に、競争力強化の面からインフラのハード・ソフト両面での整備が不可欠である。

6. ITER誘致の成否は自治体の方向性を変えるものと理解している。インフラ整備についても可能な限り協力していきたい。
7. 国や自治体が行なうインフラ整備もあるが、地元企業自らが行動を起こし解決を図らなければならないこともある。
8. クリスタルバレイ構想、国際熱核融合実験炉(ITER)誘致やサハリンのパイプライン中継地構想の具体化など、希望の持てるプロジェクトを期待したい。

以上